

II 農場運営

1 総務事項

1) 人事異動

2016. 4. 1 異動

畠野 義信：総務部人事課雇用推進部門（前学内農場農事部労務職員(再雇用)）

中山 輝光：総務部人事課雇用推進部門（前唐湊果樹園労務職員(再雇用)）

新規採用

西澤 優：唐湊果樹園技術職員

飯盛 葵：入来牧場技術職員

2016. 7. 31 辞職

堂蘭 千晶：農場事務係事務補佐員

2016. 8. 1 新規採用

宿里 香代：農場事務係事務補佐員

2) 技術職員研修

農場実習の高度化および充実を図るためには、技術職員の資質向上が不可欠である。農場では技術職員の資質向上を最重要課題と位置づけて、以下のような各種の研修を実施した。

(1) 平成28年度鹿児島県内国立大学法人等事務系・技術系新規採用職員研修

期間 平成28年9月13日～15日

場所 鹿児島大学，国立大隅青少年自然の家

研修者 唐湊果樹園 西澤 優技術職員，入来牧場 飯盛 葵技術職員

(2) 平成28年度鹿児島大学農学部附属農場・附属演習林及び教育学部実習地技術部職員研修

期間 平成29年2月1日～2日

場所 鹿児島大学農学部附属農場，鹿児島大学農学部附属演習林高隈演習林

研修者 学内農場農事部 中野八伯技術職員，同：濱田延枝技術職員，唐湊果樹園 川口昭二技術総括，同：福留弘康技術専門職員同：西澤 優技術職員，指宿植物試験場 谷村音樹技術総括，同：田浦一成技術職員，入来牧場 松元里志技術専門職員，同：富永輝技術職員，同：石井大介技術職員，同：柳田大輝技術職員

3) 農場施設の利用

農場では、学外・内を問わず広く施設の利用を受け入れている。

(1) 学外

(学内農場農事部)

・鹿児島大学教育学部附属小学校

時期：平成28年4月13日～4月22日 140名

内容：田んぼや畑にいる生き物とふれ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う

・鹿児島市立荒田小学校

時期：平成28年4月27日 69名

内容：小学校生活科「生き物をさがそう」で、動植物の観察として

・認定こども園めぐみ幼稚園

時期：平成28年5月10日 74名

内容：幼児の体験活動のため（イモの苗の植え方を知る・土の感触を味わう・自然の中でのびのびと遊ぶ）

・鹿児島市立甲南中学校

時期：平成28年5月10日～5月12日 5名

内容：職場体験学習

・鹿児島大学教育学部附属小学校

時期：平成28年6月8日～7月8日 138名

内容：2年生生活科「さんぼ」農場見学。田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う

Ⅱ 農場運営

- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成28年 6月30日 133名
内容：総合的な学習の時間に田植えの体験活動や周辺の生き物の観察を行う
- ・鹿児島市立中郡小学校
時期：平成28年 7月15日 65名
内容：生活科の学習「生きもののなかよし大作せん」地域にいる生き物に関心を持ち、地域で生き物を採集した後、大切に飼育しようとする気持ちを育てる
- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成28年 9月27日 36名
内容：総合的な学習の時間で田植えの体験活動を行った後の稲の観察を行う
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成28年10月 7日 70名
内容：小学1年生の生活科「むしとなかよくなろう」という単元で実際に虫を採集し、虫の観察を行う
- ・認定こども園めぐみ幼稚園
時期：平成28年10月18日 71名
内容：春に植えたイモを収穫する。秋の自然の中でのびのびと遊ぶ
- ・鹿児島大学教育学部附属中学校
時期：平成28年11月 1日～11月 2日 4名
内容：職場体験学習
- ・鹿児島市八幡小学校
時期：平成28年11月 7日 133名
内容：総合的な学習の時間に稲刈りの体験活動や周辺の生き物の観察を行う
- ・鹿児島市八幡小学校
時期：平成28年11月22日 133名
内容：総合的な学習の時間に脱穀・籾摺り・精米の課程の見学と体験活動を行う
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成28年11月28日 140名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- ・JICA研修
時期：平成29年 2月 3日 3名
内容：JICAの「ブータン中西部地域園芸農業振興プロジェクト」研修員への、熱帯果樹についての研修
(唐湊果樹園)
- ・一般市民
時期：平成28年 7月12日 20名
内容：ブルーベリーの収穫体験
- ・国際島嶼教育研究センター
時期：平成28年10月18日 16名
内容：国際島嶼教育研究センターのワークショップ「Future Collaboration on Island Studies between Pattimura University and Kagoshima University」の開催に来鹿される、インドネシア・パティムラ大学の教員による視察見学
- ・鹿児島大学教育学部附属幼稚園
時期：平成28年11月 1日 78名
内容：みかん狩り体験を通して、収穫の喜びを感じると同時に、育てている方々への感謝の気持ちを持てるようにしたい。また、周りの野山を見ることを通して、秋の自然の様子を感じることができると考える
- ・鹿児島大学教育学部附属中学校
時期：平成28年11月 1日～ 2日 4名
内容：職場体験学習
- ・認定こども園 紫原幼稚園
時期：平成28年12月 6日 54名
内容：園外保育での果樹園の見学

- ・ JICA研修
時期：平成29年2月2日 3名
内容：JICAの「ブータン中西部地域園芸農業振興プロジェクト」研修員への、果樹園芸学についての研修
 - ・ タイガー株式会社
時期：平成29年2月8日～9日 3名
内容：ヒヨドリに関する調査
 - ・ JICA研修
時期：平成29年2月21日～23日 3名
内容：JICAの「ブータン中西部地域園芸農業振興プロジェクト」研修員への、果樹栽培の技術研修
- (指宿植物試験場)
- ・ 指宿熱帯果樹研究会
時期：平成28年4月12日 15名
内容：指宿地区の熱帯果樹振興のために協力している、指宿熱帯果樹研究会の試験場の視察および現地検討
 - ・ 一般市民
時期：平成28年4月13日 1名
内容：口之永良部島でのパッションフルーツ栽培・普及のため指宿植物試験場において、パッションフルーツの繁殖（主に挿し木）についての実習
 - ・ 南九州ソーラー株式会社
時期：平成28年4月27日 2名
内容：発電をする事により発生する排熱を利用し施設園芸を計画しており、温水での供給により、どのようにして、ハウス内を暖房したらよいかの視察
 - ・ 神戸大学農学部
時期：平成28年5月19日 10名
内容：デイゴの枯死現象の原因究明のため、検出された微生物の病原性を確認するため、挿し木苗栽培の穂木採集
 - ・ 指宿熱帯果実振興会
時期：平成28年6月11日 12名
内容：指宿地区の熱帯果実類の販売を目指す農家グループである指宿熱帯果実振興会の意見交換会を開催
 - ・ 農業大学校農学部果樹科（1年生）
時期：平成28年7月20日 6名
内容：熱帯果樹類の栽培管理の研修のため
 - ・ 南大隅町役場経済課
時期：平成28年7月21日 1名
内容：アボカドの生産を3年前より取り組んでおりアボカド種の「紅心円」について、本町での生産に適合するかの調査をする
 - ・ 徳島県立小松島西高等学校勝浦校
時期：平成28年8月22日 2名
内容：本校は農業高校でパッションフルーツを使った温暖化防止への緩和策に取り組んでいる。そのための農場見学
 - ・ 宮崎大学農学部・南九州大学環境園芸学部・鹿児島大学農学部
時期：平成28年8月31日～9月1日 29名
内容：宮崎大学農学部果樹園芸学研究室・南九州大学環境園芸学部果樹園芸学研究室・鹿児島大学農学部果樹園芸学研究室の3校合同研修会および場内視察
 - ・ 指宿熱帯果実振興会
時期：平成28年9月10日 12名
内容：指宿市内農家で組織されている「熱帯果実振興会」の視察と意見交換会
 - ・ 指宿熱帯果樹研究会
時期：平成28年9月15日 12名
内容：指宿地区の熱帯果樹類の栽培農家グループである指宿熱帯果樹研究会の意見交換会を開催
 - ・ 指宿熱帯果樹研究会
時期：平成28年11月15日 12名
内容：指宿地区の熱帯果樹類の栽培農家グループである指宿熱帯果樹研究会による試験場視察および意見交換会を開催

Ⅱ 農場運営

- ・宮崎大学農学部
時期：平成28年11月27日 2名
内容：温泉水を利用した植物栽培施設の見学
- ・タイ王国メジョー大学
時期：平成28年12月3日～17日 2名
内容：学術交流協定に基づきメジョー大学（タイ王国）より受け入れた、メジョー大学4年生の指宿植物試験場および近隣農家での農業研修
- ・雲南農業大学
時期：平成28年12月8日 15名
内容：中国の雲南農業大学学生の研修
- ・株式会社エルム
時期：平成29年2月10日 4名
内容：南さつま市でのアボカドなど熱帯果樹栽培のための視察
- ・芦北地方青年農業者クラブ
時期：平成29年3月6日 8名
内容：熱帯果樹（マンゴー、パッションフルーツなど）の栽培管理についての視察
- ・指宿熱帯果実振興会
時期：平成29年3月18日 10名
内容：指宿熱帯果実振興会の意見交換会および試験場内視察
- ・指宿熱帯果樹研究会
時期：平成29年3月21日 15名
内容：地域貢献の一環として、指宿地区の熱帯果樹類の栽培農家グループである指宿熱帯果樹研究会の検討会を開催

（入来牧場）

- ・鹿児島市立吉田北中学校
時期：平成28年5月16日～20日 1名
内容：職場体験学習
- ・九州大学高原農業実験実習場
時期：平成28年6月22日～24日 1名
内容：家畜飼養管理や繁殖管理等についての研修のため
- ・動物探検隊
時期：平成28年8月2日 31名
内容：ウシの餌やり体験
- ・山梨県立韮崎高校
時期：平成29年2月6日 45名
内容：入来牧場内に設置されている鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設見学
- ・タイガー株式会社
時期：平成29年2月8日
内容：シカに関する調査
- ・コーアツ工業
時期：平成29年3月10日 2名
内容：2016年度研究成果発表、ドローンのデモ試験

（2）学内

（学内農場）

平成28年度

4月12日	作物生産学講座，研究室振り分けに関するオリエンテーション（26名）
4月15～8月5日	農学研究科「害中学特論」の授業（計15回）（21名）
4月21日	農業土木学実験において畑地における水の浸透試験の実施（2名）
7月27日	学童保育による児童の学内探検・動植物観察（23名）
8月25日，30日	共通教育「国際協力体験講座」事前打ち合わせ（14名）
2月11日	作物生産学講座の卒・修論発表会にかかる交流会開催（49名）

(動物飼育棟(学内畜産部))

7月28日 学童保育による児童の学内探検・動植物観察(23名)

(唐湊果樹園)

5月27日 樹木の同定実習(36名)

6月3日 樹木の同定実習(36名)

6月17日 樹木の同定実習の事前準備(3名)

7月15日 樹木の同定技術を身につけるための樹木学実習で使用するための策葉を採取(4名)

7月22日 樹木の同定技術を身につけるための樹木学実習で使用するための策葉を採取(4名)

(指宿植物試験場)

4月23~24日 遺伝資源保存用のヤムイモ・ウコンの定植(13名)

5月24日 遺伝資源保存用のヤムイモの支柱立てと除草作業(9名)

6月12日 ケナフ苗補植, 圃場の除草(1名)

7月5日 遺伝資源保存用ヤムイモおよびウコンの管理(8名)

11月22日 修士・卒業論文のため: ヤムイモおよびウコン収穫の準備(9名)

11月26~27日 ヤムイモおよびウコン収穫・調査(15名)

3月18日 遺伝資源保存用のヤムイモ消毒と圃場準備(9名)

(入来牧場)

4月5~6日 シカの飼養管理実習(1名)

4月6日 ヤギの放牧試験地の植生調査および整備(1名)

4月6日 ヤギのエサ下ろし・放牧地整備(7名)

4月8日 入来牧場内に設置されている鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設へ, 鹿児島大学理学部物理科学科新生オリエンテーションの一環として, 学生および指導教員が見学(51名)

4月12日 シカの飼養管理実習(1名)

4月15~16日 シカの飼養管理実習(1名)

4月19~24日 シカの飼養管理実習(1名)

4月20日 シカ小屋の整備, 嗜好試験(7名)

4月21日 シカの飼養管理, 小屋の整備(2名)

卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(1名)

4月22日 シカの飼養管理, 小屋の整備(1名)

卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(1名)

4月26日 シカの飼養管理, 9区整備, ヤギ放牧地整備(4名)

ヤギの放牧試験地の植生調査および整備(1名)

4月26~5月1日 シカの飼養管理実習(1名)

4月27日 研究打合せ(1名) シカの飼養管理, 9区整備(14名)

4月28日 卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(1名)

4月29日 シカの飼養管理, 9区整備(1名)

5月3~8日 シカの飼養管理実習(1名)

5月4日 卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(1名)

5月6日 学生実習(森林管理学)(23名)

5月17日 ブタ放牧地の整備(8名) 入来牧場での作業(10名)

5月18日 牧場内へのシカの侵入状況に関する調査(5名)

5月19日, 20日 卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(1名)

5月18~21日 シカの飼養管理実習(1名)

5月24日 ブタ放牧およびヤギの衛生管理に関する調査(1名)

ヤギ放牧地整備, 衛生管理, シカ小屋周辺整備(10名)

5月24~29日 シカの飼養管理実習(1名)

5月26日, 27日 卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(1名)

5月31~6月5日 シカの飼養管理実習(1名)

6月4日 卒論研究(飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査)(2名)

6月7日 ブタ放牧地の整備(5名)

6月8日 ブタ放牧地の整備(10名)

Ⅱ 農場運営

6月9日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（1名） ブタ放牧地の整備（6名）
6月10～12日	飼養管理実習（1名）
6月11日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（1名）
6月14日	シカを使った電気柵の実験，シカ小屋の掃除（6名）
6月15日，16日	飼育シカを使った電気柵の実験（5名）
6月16日，17日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（1名）
6月17日	シカの飼養管理（5名）
6月21日	ヤギ放牧地整備（6名）
6月23日，24日	シカの飼養管理実習（1名）
6月24日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（1名）
7月5日，6日	ブタおよびヤギの放牧に関する調査（1名）
7月12日	ブタの導入，放牧準備（8名）
7月13日	ブタ放牧地の整備（1名）
7月19日	ブタの体重測定など（8名）
7月20日	ブタの飼養管理（3名）
7月21日	飼養管理実習（1名）
7月23日	ブタの飼養管理（3名）飼養管理実習のため（2名）
7月25日	飼養管理実習（2名）
7月26日	ブタの体重測定（3名）ブタの行動観察（8名）
7月27日	放牧ブタの行動に関する調査（1名）
7月28日，29日	飼養管理実習（1名）
8月2日	ブタの体重測定など（4名）
8月3日	飼養管理実習（1名）
8月4日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（1名） ブタの飼養管理（1名）シカに関する調査（7名） 入来牧場での防疫等説明会のため（13名）
8月6日	ブタの飼養管理（1名）
8月7日	飼養管理の手伝い，星物語の手伝い（7名）
8月7日	飼養管理（1名）
8月7日	入来牧場内に設置されている鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設に対し，鹿児島大学オープンキャンパス理学部物理科学科企画として，受講希望者および引率教員が施設の見学（46名）
8月8日	飼養管理（1名）
8月10日，12日	飼養管理実習（1名）
8月12日，13日	飼養管理（1名）
8月14日，15日	飼養管理実習（1名）
8月16日	飼養管理（1名）
8月17日	飼養管理・研究（4名）
8月18日	シカの飼養管理，ネット柵の設置（6名）
8月18日	飼養管理（1名）
8月19日	シカの飼養管理，ネット柵の設置（8名）
8月19日	飼養管理（1名）
8月20日	修論研究（早朝シカ出現頭数確認調査）（1名）
8月20日	飼養管理実習（3名）
8月21日	飼養管理実習（3名）
8月22日	シカ・ブタ飼養管理，飼育シカ行動反応撮影試験（1名）
8月23日，24日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（1名）
8月23日	飼養管理実習・研究（5名）
8月24日，25日	飼養管理（1名）
8月26日	飼養管理実習（2名）
8月26日，28日	飼養管理（1名）
8月26～27日	ブタの行動観察，シカの捕獲作業（18名）

8月30日	ブタの飼養管理 (4名)
8月31日	飼養管理実習 (1名)
9月2日, 3日	飼養管理実習 (1名)
9月6日	放牧ブタの発育に関する調査 (1名) 飼養管理・圃場管理 (5名)
9月7日, 9日, 10日	飼養管理実習 (1名)
9月8日	飼養管理実習 (1名) ヤギ放牧に関する調査 (1名)
9月11日	飼養管理 (4名)
9月12日	飼養管理実習 (1名)
9月13日	ブタの管理, シカの管理および実験 (1名)
9月15日, 16日	飼養管理, ブタの管理, シカの実験および管理 (1名)
9月17日	飼養管理実習 (1名)
9月18日, 19日	飼養管理 (1名)
9月20日	ブタ体尺, シカの管理および実験 (1名)
9月21日, 22日	飼養管理実習 (1名)
9月22日	ブタの管理, シカの管理および実験 (1名)
9月23日	飼養管理実習のため (1名) シカの管理および実験 (1名)
9月24日, 25日	卒業論文の実験 (1名)
9月25日, 26日	飼養管理実習 (1名)
9月26日, 27日	シカの管理および実験 (1名)
9月27日	ブタの体重測定など (5名)
9月27日, 28日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
9月28日	シカの侵入状況に関する調査 (4名) ライトセンサス, シカの管理および実験 (1名)
9月28日, 29日	飼養管理実習 (1名)
9月29日, 30日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月1日	飼養管理実習 (1名) シカの管理および実験 (1名)
10月1日, 3日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月2日, 3日	飼養管理実習 (1名)
10月3日	飼養管理実習 (1名)
10月4日	ブタの体重測定など (3名) シカの管理, ブタの管理 (1名) 卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月5日	飼養管理実習 (1名)
10月6日	卒論に関する打合せならびに実験材料の運搬 (1名) シカの管理および実験 (1名)
10月6日, 7日, 8日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月6日, 7日	飼養管理実習 (1名)
10月8日, 9日	飼養管理実習 (1名)
10月10日, 12日	飼養管理実習 (1名)
10月11日	修論研究 (早朝シカ調査), シカの管理 (1名)
10月12日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月13日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月13日, 14日	飼養管理実習 (1名)
10月14日, 15日	飼養管理実習 (1名)
10月15日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月15日, 16日	飼養管理実習 (1名)
10月17日	飼養管理実習 (1名)
10月18日	シカの管理 (1名)
10月18日, 20日	飼養管理実習 (1名)
10月20日	シカの侵入状況に関する調査 (1名) 飼養管理実習および実験道具の確認 (2名) 飼養管理実習および電柵の電圧チェック・カメラチェック (1名) 卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)
10月21日	飼養管理実習のため (2名) 修論研究 (早朝シカ調査), シカの管理 (1名)
10月21日, 23日	卒論研究 (飼料の嗜好性試験に向けた準備, 骨格筋特性の調査) (1名)

Ⅱ 農場運営

10月25日	シカの管理および実験（1名）
10月25日、28日	飼養管理実習（2名）
10月26日	飼養管理実習および嗜好試験についての確認（2名）
10月27日、28日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
10月27日	ブタの放牧地の整備、シカの侵入状況調査（5名）
10月28日	シカの管理および実験（1名）
10月29日、30日	飼養管理実習（1名）
10月30日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名） 修論研究（早朝シカ調査）、シカの管理（1名）
11月1日、2日	ワナの設置、シカの管理（1名）
11月1～2日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月1～4日	飼養管理実習（1名）
11月3～6日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月5日	シカの飼養管理、電柵のチェック（1名）
11月5日、7日	飼養管理実習（1名）
11月7～9日	研究、卒業論文の実験のため（1名）
11月8～11日	飼養管理実習（1名）
11月8日	シカ飼養管理、電柵のチェック（1名）飼養管理（ウシ）のため（2名）
11月8～9日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）
11月9日	シカの解体のため（1名）
11月9日	飼養管理（ウシ）（1名）
11月10～13日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月11日	シカ早朝調査、シカの実験のため（1名）
11月14日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名） 飼養管理（ウシ）（2名）
11月15日	シカに関する調査（ワナの設置、ライトセンサス）（3名）
11月15日	シカの飼養管理および実験（1名）
11月15日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月16日	ワナの見回り、シカの飼養管理（1名）シカに関する調査（3名）
11月16日、17日	飼養管理（ウシ）、ウシによる嗜好試験についての打合せ（2名）
11月16日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月17日	シカの解体作業の手伝い、シカの飼養管理（2名）
11月17～21日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月18日	シカの飼養管理、電気柵の管理など（1名）
11月19日、21日	シカの飼養管理実習のため（1名）
11月22日、23日	シカに関する調査（ワナの設置）（3名）
11月22～23日	飼養管理実習のため（1名）
11月22～23日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月23日	飼養管理（ウシ）（1名）ワナの確認、シカの飼養管理（1名）
11月24日	シカの飼養管理、電気柵管理、餌下ろし（7名） 飼養管理（ウシ）（1名）実験材料の運搬（1名）
11月24～25日	シカの飼養管理実習（1名）
11月24～26日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備、骨格筋特性の調査）（1名）
11月25日	シカに関する調査（1名）飼養管理（ウシ）（2名）
11月26日、28日	飼養管理実習（1名）
11月27～28日	卒業研究（1名）
11月29日	卒業研究（1名）
11月29～30日	卒業研究（1名）
11月29～12月2日	飼養管理実習（1名）
11月30日	飼養管理（ウシ）（2名）
12月1日	修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備）、飼養管理（ウシ）（5名）

12月1～2日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
12月1～3日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
12月2日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備）（2名） 修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（骨格筋特性の調査）（3名）
12月3日	修論研究（飼育シカに関する調査）（1名）卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
12月4日	ブタ放牧地の整備および卒論研究（骨格筋特性の調査）（3名）
12月5日	ブタ放牧地の整備・餌下ろし・シカ小屋補修，卒論研究（骨格筋特性の調査）（13名）
12月6日	修論研究（早朝シカ出現状況調査）・卒論研究（嗜好試験，骨格筋特性の調査）（4名） 入来牧場内に設置されている国立天文台VERA入来観測局へ，理学部物理科学科3年の授業「天体観測実習」の一環として，鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設の見学（30名）
12月6～7日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
12月6～8日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
12月7日	実験材料の運搬および実験（1名） 修論研究（早朝シカ調査），卒論研究（嗜好試験，骨格筋特性の調査）（7名）
12月8日	修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（骨格筋特性の調査），飼養管理（ウシ）（5名）
12月9日	修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（5名）
12月10日	修論研究および卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（3名） 卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
12月11日	修論研究（早朝シカ出現状況調査）・卒論研究（骨格筋特性の調査，飼料の嗜好性試験に向けた準備）（5名）
12月11～12日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
12月13日	修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（4名）
12月13～15日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（3名）
12月14日	修論研究（飼育シカに関する研究）・卒論研究（骨格筋特性の調査，嗜好試験）（8名）
12月14日，15日	実験材料の運搬および実験（1名）
12月15日	修論研究（飼育シカに関する研究）・卒論研究（骨格筋特性の調査），餌下ろし（8名）
12月16日	修論研究（飼育シカに関する研究）・卒論研究（骨格筋特性の調査）（8名）
12月17日	修論研究（飼育シカに関する研究）・卒論研究（骨格筋特性の調査）（3名）
12月18日，19日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
12月19日	シカに関する調査（1名）
12月20日	修論研究（早朝シカ調査）・卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（4名）
12月20～21日	卒論研究（飼料の嗜好性試験に向けた準備）（1名）
12月21日	実験材料の運搬および実験（1名） 修論研究（ライトセンサス）・卒論研究（嗜好試験，骨格筋特性の調査）（5名）
12月22日	修論研究（早朝シカ調査（予備日））（1名）
12月23日，24日	修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（骨格筋特性の調査）（3名）
12月25日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
12月27日	修論研究（ライトセンサス）（2名）
12月28日	修論研究（飼育シカに関する調査）・卒論研究（嗜好試験のかたづけ，骨格筋特性の調査）（6名）
12月29日	修論研究（早朝シカ調査・飼育シカに関する調査）・卒論研究（骨格筋特性の調査）（3名）
12月30日	修論研究（早朝シカ調査）・卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
12月31日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
1月1～4日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（骨格筋特性の調査）（3名）
1月5日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（飼料の嗜好試験に向けた準備，骨格筋特性の調査）（4名）
1月6日，7日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（骨格筋特性の調査，シカの肉質に関する調査）のためシカの解体，罾の設置，見回り（7名）

Ⅱ 農場運営

1月8日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
1月9日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
1月10日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理と早朝シカ調査，電気柵への行動反応試験（1名）
1月10～13日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
1月11日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの電気柵への行動反応試験（1名）
1月12日，13日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理と早朝シカ調査予備日，電気柵への行動反応試験，卒論研究（飼料の嗜好試験に向けた準備，骨格筋特性の調査，シカの肉質に関する調査）のためシカの解体，罾の設置，見回り（6名）
1月14日	卒論研究（牛の肉質調査，骨格筋特性の調査）（2名）
1月15日	修論研究（飼育シカに関する調査），卒論研究（牛の肉質調査，骨格筋特性の調査）（3名）
1月16日	卒論研究（骨格筋特性の調査）のため実験室利用（1名）
1月17日，18日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理と電気柵への行動反応試験，卒論研究（シカの肉質に関する調査）のためシカの解体，罾の設置，見回り（5名）
1月17～20日	卒論研究（骨格筋特性の調査）（1名）
1月19日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理と早朝シカ調査，電気柵への行動反応試験，卒論研究（飼料の嗜好試験に向けた準備）（2名）
1月20日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理（1名）
1月21日，22日	修論研究（飼育シカに関する調査），卒論研究（牛の肉質調査・骨格筋特性の調査）（3名）
1月23日	卒論研究（シカの肉質に関する調査）のためシカの解体，罾の設置，見回りおよび卒論研究（骨格筋特性の調査）（5名）
1月24日，25日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理と電気柵への行動反応試験，卒論研究（シカの肉質に関する調査・骨格筋特性の調査）のためシカの解体，罾の設置，見回り（6名）
1月25日	実験材料の運搬および実験，シカに関する調査（2名）
1月26日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためシカの飼養管理と電気柵への行動反応試験，卒論研究（飼料の嗜好試験に向けた準備・骨格筋特性の調査・シカの肉質に関する調査）のためシカの解体，罾の設置，見回り（7名）
1月27日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためシカの飼養管理，卒論研究（骨格筋特性の調査・シカの肉質に関する調査）のためシカの解体，罾の設置，見回り（5名）
1月28日	卒論研究（牛の肉質調査・骨格筋特性の調査）のため飼養管理（2名）
1月29日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（牛の肉質調査・骨格筋特性の調査）（3名）
1月30日，31日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの早朝シカ調査予備日，卒論研究（骨格筋特性の調査）（2名）
2月1日，2日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（2名）
2月3日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理，ウシの飼養管理（3名）
2月4日	シカの飼養管理（3名）
2月5日	シカの飼養管理（2名）
2月7日，8日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（3名）
2月9日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（2名）
2月10日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理，早朝シカ調査，ウシの飼養管理，害獣として捕獲された動物の脳血管の欠陥作動性物質に対する血管反応性を調べ，その動物種の特徴を明らかにする（4名）
2月11日	シカの飼養管理（3名）
2月12日	シカの飼養管理（2名）
2月14日，16日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（1名）
2月15日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（3名）
2月17日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理，早朝シカ調査，ウシの飼養管理（2名）
2月18日	シカの飼養管理（2名）
2月19日	シカの飼養管理（3名）

2月20～28日	シカの罠設置（1名）
2月21日	電気柵への行動反応調査，ライトセンサス，シカの飼養管理（3名）
2月22日，23日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（2名）
2月24日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理，ウシの飼養管理（4名）
2月25日，26日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（2名）
2月27日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理（1名）
2月28日	電気柵への行動反応調査，シカの飼養管理，早朝シカ調査（2名）
3月1日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，卒論研究（シカの肉質調査）に使うシカ捕獲のための罠設置（2名）
3月2日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
3月3～5日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，早朝シカ確認調査（1名）
3月6日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（シカの肉質調査）のためのシカ解体，卒論研究（竹粉サイレージの牛への給与・ブタに関する研究）（5名）
3月7日，8日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，卒論研究（竹粉サイレージの牛への給与）に向けた竹の粉碎（2名）
3月9日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，卒論研究（竹粉サイレージの牛への給与）に向けた竹の粉碎，卒論研究（すすきの粗飼料化）に向けたすすきの刈り取り，実験材料の運搬および実験（4名）
3月10日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，早朝シカ確認調査，卒論研究（竹粉サイレージの牛への給与），卒論研究（すすきの粗飼料化），実験材料の運搬および実験，ブタ・シカ施設の清掃（5名）
3月11日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理（1名）
3月13日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，卒論研究（竹粉サイレージの牛への給与）に向けた竹の粉碎（2名）
3月14日	飼育シカの移動（牧場外への搬出）（2名）
3月15日	卒論研究（すすきの粗飼料化），動物実験施設の審査（シカ小屋，ブタ放牧地）（2名）
3月14～16日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（2名）
3月17日，18日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理（1名）
3月19日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
3月20日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，卒論研究（シカの肉質調査）のためのシカ解体（2名）
3月21～23日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，早朝シカ調査（1名）
3月23日	野草地の植生調査，ススキ草地の試験候補地の確認（3名）
3月25日，26日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
3月31日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）

4) 刊行物

鹿児島大学農学部農場年報，第11号（2017.3）（2015年度から印刷物を廃止し，Webでの配信のみとした）
鹿児島大学農学部農場研究報告，第38号（2017.3）

5) 行事

4月2日	展示即売会
6月3日	入来牧場牧神祭
7月8日	学内農場農事部お田植え祭
9月23日	指宿植物試験場熱帯果樹観葉祭
11月18日	唐湊果樹園収穫祭

6) 平成28年度全国大学附属農場協議会

(1) 春季協議会

日 時：平成28年5月12日～13日
場 所：学士会館（東京都）
参加者：津田農場長

(2) 秋季協議会

日 時：平成28年 9月 7日～ 8日
場 所：オークラホテル高松（香川県高松市）
参加者：松元技術専門職員，山下農場事務係長

(3) 九州地域協議会及び技術職員教育・研究発表会

日 時：平成28年 8月30日～31日
場 所：ニューウェルシティ宮崎（宮崎市）
参加者：津田農場長，富永技術職員，柳田技術職員

2 会計事項

1) 予算および決算

平成28年度の農場予算および決算は，第6表のとおりである。予算額103,952,837円に対し，決算額104,047,417円で，94,580円の不足が生じた。

第6表 平成28年度予算および決算 (単位：円)

施設名	当初配分額	追加配分額 および振替額	予算額	決算額	差引過不足額
農場実習経費	0	0	0	0	0
農場実習支援経費	39,249,000	242,149	39,491,149	39,555,592	△64,443
農場運営経費	50,314,000	14,147,688	64,461,688	64,491,825	△30,137
主事	0	0	0	0	0
植物部門主任	0	0	0	0	0
動物部門主任	0	0	0	0	0
合 計	89,563,000	14,389,837	103,952,837	104,047,417	△94,580

2) 機械，設備および備品

本年度は，施設毎の機械，備品を中心に，第7表に示すように総額4,109,200円の予算を充当した。

第7表 平成28年度機械設備等の整備 (50万円以上 予算：自己収入)

機械設備名	メーカー・規格	数量	金額 (円)	施設名
運搬車	ヤンマー FG190SD, 4WD	1台	901,800	学内農事部
軽自動車	スズキ エブリイ HBD-DA17V フェラー SM270P	1台	1,150,000	指宿植物試験場
ディスクモア	(株)やまびこ BSM511R/E	1台	1,328,400	入来牧場
ブームスプレーヤ		1台	729,000	〃
合 計			4,109,200	

3) 施設整備

(1) 学内農場農事部

数年前より，作物生産に配慮した輪作体系を組み，田畑輪換も含めた作付け体系を実施している。しかし，元来が排水不良地であるため，畑作時における，湿害の発生がみられた。そこで，平成19年度の実習教育改善経費により，排水不良の2圃場（10号：約800㎡，と11号：約1,570㎡）に暗渠排水を敷設した。

(2) 唐湊果樹園

果樹園は敷地境界をフェンスを設置しているが，老朽化している箇所がみられることから，更新が必要である。また，敷地境界では，ゴミの投げ込みもみられることから対策もあわせて必要となる。

(3) 指宿植物試験場

ここ数年，施設の加温に利用している温泉量が減少傾向にあるため，一部の温室やハウスでは，従来の温度確保がむずかしくなってきた。一時的な現象かどうかを見極める必要があるが，平成20年度に導入された「省エネルギー型生産技術開発システム」に利用する温泉量も減少しており，今後，湯量の確保に向けた方策が必要になる。

今年の台風16号により敷地境界のフェンスの一部が倒壊し老朽化している箇所も多く更新が必要である。

(4) 入来牧場

入来牧場管理棟は、竣工（1968）後、47年を経過し、壁面の亀裂、雨漏り等など、老朽化が著しい。平成20年度には、平成19年度から繰り越した農場経費と大学本部経費により、女性用トイレと風呂の新設および職員室の改修を行ったものの、入来牧場管理棟2階部分（宿泊室、講義室）、1階部分（男子トイレ、風呂、食堂）および外壁の改修が課題として残っている。学生、外部利用者および教職員の安全性確保の観点から早急な全面改修が望まれるため、現在概算要求を行っている。

(5) 学内農場畜産部

動物飼育棟は築32年を経過し、雨漏りが頻発していたため、これまで部分的な補修を繰り返してきた。しかし、部分的な補修では改善が見られないことから、平成23年度末に附属演習林から予算借入れを行い、屋根の全面補修を行った。その結果、雨漏りは止まったものの、建物本体の劣化および排水等などの問題は依然として残ったままである。

3 各種会議および委員会

農学部は平成28年度（2016年度）に改組を行い新体制がスタートした。改組は学年進行であるが新組織に適応させるよう本農場の各種会議および委員会の構成員アドも変更を行った。

1) 農場会議

(1) 委員名簿（任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日）

農場長（議長）	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
応用植物科学コース	志水 勝好
応用植物科学コース	山本 雅史
応用植物科学コース	坂巻 祥孝
畜産科学コース	中西 良孝
食料農業経済学コース	豊 智行
食料生命科学科	池永 誠
農林環境科学科	岩崎 浩一
総務課長	鮎川 秋徳

(2) 会議記録

第1回：平成28年8月26日（金）14時30分～15時25分

- 議題
1. 平成27年度附属農場決算（案）について
 2. 平成28年度附属農場予算（案）について
 3. 平成28年度後期農場実習（案）について
 4. 平成28年度後期施設等利用計画（案）について
 5. 動物飼育棟へのブタの導入について
 6. 附属農場家畜防疫対策規程の一部改正について
 7. その他

第2回：平成29年1月19日（木）16時10分～16時30分

- 議題
1. 残予算の用途について
 2. その他

第3回：平成29年3月2日（木）16時10分～16時45分

- 議題
1. 平成29年度前期農場実習（案）について
 2. 平成29年度後期からの農場実習について
 3. 平成29年度前期施設等利用計画（案）について
 4. 動物飼育棟へのヤギの導入について
 5. その他

2) 農場運営委員会

(1) 委員名簿 (任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日)

農場長 (委員長)	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
兼任教員	下田代智英
兼任教員	清水 圭一
兼任教員	高山 耕二
農事部技術総括	野村 哲也
唐湊果樹園技術総括	川口 昭二
指宿植物試験場技術総括	谷村 音樹
入来牧場技術総括	片平 清美
総務課長代理	立和名幸洋
農場事務係長	山下 聖二

(2) 委員会記録

第1回：平成28年8月3日(水) 14時30分～15時05分

- 議題 1. 平成27年度附属農場決算(案)について
 2. 平成28年度附属農場予算(案)について
 3. 附属農場家畜防疫対策規程の一部改正について
 4. その他

第2回：平成29年1月5日(木) 9時00分～9時40分

- 議題 1. 残予算の用途について
 2. その他

3) 農場実習教育委員会

(1) 委員名簿

農場長 (委員長)	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
農業生産科学科	
応用植物科学コース	下田代智英
〃	坂上 潤一
〃	角 明夫
〃	一谷 勝之
〃	志水 勝好
〃	山本 雅史
〃	吉田理一郎
〃	橋本 文雄
〃	清水 圭一
〃	坂巻 祥孝
畜産科学コース	大久津昌治
〃	三好 和睦
〃	岡本 新
〃	下桐 猛
〃	中西 良孝
〃	高山 耕二
食料生命科学科	
食環境制御科学コース	岩井 久
〃	中村 正幸

農林環境科学科

地域環境システム学コース 岩崎 浩一
 〃 末吉 武志

自然科学教育研究支援センター

遺伝子実験施設 田浦 悟

(2) 委員会記録

第1回：平成28年8月3日（水）16時15分～16時30分

議題 1. 平成28年度後期農場実習（案）について
 2. その他

第2回：平成29年2月24日（金）10時30分～11時15分

議題 1. 平成29年度前期農場実習（案）について
 2. 平成29年度後期からの農場実習について
 3. その他

4) 附属農場施設等利用委員会

(1) 委員名簿（任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日）

農場主事（委員長） 遠城 道雄
 植物部門主任 朴 炳宰
 動物部門主任 大島 一郎
 応用植物科学コース 下田代智英
 応用植物科学コース 一谷 勝之
 応用植物科学コース 清水 圭一
 畜産科学コース 高山 耕二
 食料生命科学科 樗木 直也
 農林環境科学科 岩崎 浩一

(2) 委員会記録

第1回：平成28年8月1日（金）14時30分～14時50分

議題 1. 平成28年度後期施設等利用計画（案）について
 2. その他

第2回：平成28年11月15日（火）～平成28年11月22日（火）

議題 1. 平成28年度後期施設等利用の追加申請について

第3回：平成29年2月6日（月）14時15分～14時25分

議題 1. 平成29年度前期施設等利用計画（案）について
 2. その他

5) 農場研究報告編集委員会

(1) 委員名簿（任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日）

応用植物科学コース（園芸系）（委員長） 山本 雅史
 農場主事 遠城 道雄
 応用植物科学コース（作物系） 下田代智英
 畜産科学コース 大久津昌治
 食環境制御科学コース 赤木 功

(2) 委員会記録

第1回：平成28年4月28日（月）17時00分～17時15分

議題 1. 農場研究報告編集委員会委員長の選出について
 2. 鹿児島大学農学部農場研究報告原稿の募集について
 3. その他

第2回：平成28年10月5日（水）9時00分～9時15分

議題 1. 農場研究報告第38号受付原稿の査読者の選定について
 2. その他

6) 農場家畜防疫対策検討委員会

(1) 委員名簿 (任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日)

農場長 (委員長)	津田 勝男
農業生産科学科畜産科学コース	大久津昌治
〃	岡本 新
〃	中西 良孝
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
入来牧場技術総括	片平 清美
入来牧場管理獣医師	山口 浩
農業生産科学科畜産科学コース	三好 和睦

(2) 委員会記録

第1回：平成28年6月21日 (水) 13時10分～13時20分

- 議題 1. 動物飼育棟へのブタの導入について
2. その他

4 入来牧場における牛白血病ウイルス (BLV) 清浄化の進捗状況

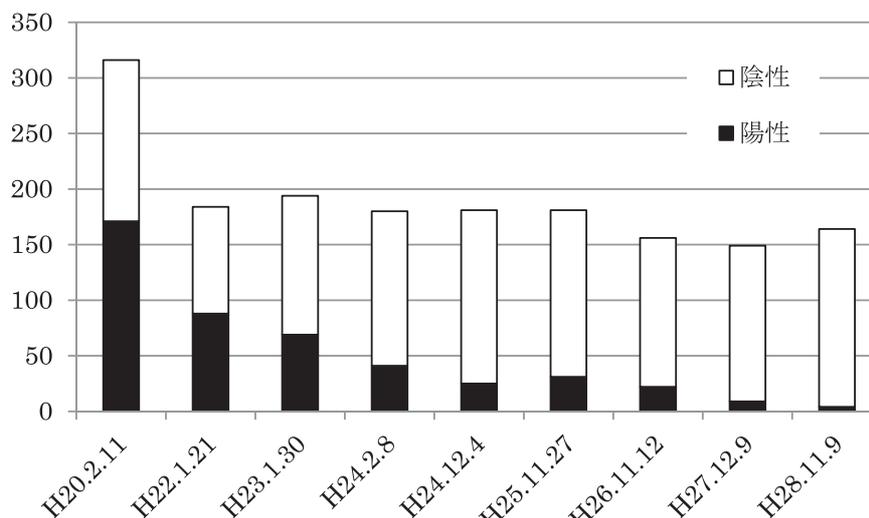


図1 牛白血病ウイルス保有率の推移

平成19年10月、入来牧場における飼養牛のBLV血清抗体価を調査した結果、検査頭数361頭のうち、陽性牛は210頭となり、全体の58%が牛白血病ウイルスに感染していることが判明した。この結果を受け、農場では平成20年1月以降、家畜防疫対策委員会を設置し、入来牧場の牛白血病ウイルス清浄化を、分娩管理および分離飼育の両側面から進めることを決定した。入来牧場では、直ちに清浄化対策を実施し、平成20年5月で陽性率51%、平成20年11月には陽性率は41%、平成23年1月には陽性率36%、平成24年2月には陽性率23%、平成24年12月には陽性率14%と着実に陽性率の低下を実現し、平成19年以降、陽性率は44ポイント低下している。平成25年11月の調査では陽性率17%、平成26年11月の調査では陽性率14%、平成27年12月の調査では陽性率6%となり、平成27年度に入り10%を下回る結果となった。直近の調査では平成28年11月に陽性率2%となっている。これらの結果は、継続的な防疫体制維持により平成24年度以降、牛白血病ウイルスを一定数でコントロールできていることを示している。現在、BLV清浄化は最終段階に入っているものの、陽性牛を集めて出荷までの間飼養している肥育牛舎では、水平感染のリスクもあることから、BLVの完全な清浄化には、まだ期間を要するものと考えられる。今後は、陽性確定牛の出荷を急ぐとともに、引き続き陰性牛の陽転を観察するため、定期的な血液検査を行っていく予定である。